

(別紙4(2))

事業所名 ひらたグループホーム翔裕館

## 目標達成計画

作成日: 令和 3年 10月 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族からの意見を聴取しようとする姿勢は見受けられませんが、家族は遠慮気味になるという事を前提に、匿名性に配慮して意見を言いやすい環境作りや家族へのアンケートを行うなど、さらなる工夫が求められます。	アンケート(満足調査)を年間行事とし計画的に行い、家族が意見を言いやすい様に基本匿名にし、2ヵ月1回の通信にて意見を聴取する。	①アンケート 年2回実施 ②「よりよく利用して頂くための意見」として、通信と一緒に送付し返信封筒を入れる。	3ヶ月
2	23	思いや意向については、入居時又は介護計画見直しの6ヶ月毎に聴き取りを行っているとのことですが、思いを伝えられない入居者の代弁者という立場である介護職員として、センター方式(C-1-2)の活用などを検討されてはいかがでしょうか。	センター方式の活用(C-1-2)、実際に管理者計画作成で1名分やってみる。	ミーティングにて各担当に説明し、活用していく。その人らしく、楽しめそうなケアプランになる様にアセスメントに力を入れる。	6ヶ月
3	33	今後は看取りを行うことも視野に入れ検討されるとのこと。年間研修計画に看取り研修は組み込まれていましたが、事業所として「看取り介護」についての研修を行い、職員と看取り期の介護について話し合う機会を持たれてはいかがでしょうか。	ミーティングにて看取りについて考える時間をもつ、ブロック長より、経験談を聞かせてもらい、看取りを身近な事ととらえる。	GHIに入所された日から看取り介護と意識し、日々の生活でその人らしく、介護の面から何をさせてもらえるのかを考えていく。23項目と共通する部分である。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。